

第 257 号

# こうげん

2016 年 6 月号

発行：高原公民館 TEL 0855-84-0521  
IP 050-5207-5500  
〒696-0406 邑南町高見 3014-3

## 三江線に乗って 三次へ行こう

6月11日、公民館文化部主催で22人が、宇都井駅から三江線で三次駅へ行き、みよし風土記の丘や、はらみちを美術館での日高忠福さん（下伏谷）作品展を見学しました。

宇都井駅はホームへたどり着くのに116段の階段を登らなければいけません。参加した方の中には「登れるだろうか…」と不安げな方もおられました。全員が余裕でホームまで登り切り、汽車が来るまで、30分以上時間がありません。8時17分、予定通り全員乗車の旅を満喫して三次駅へ到着。みよし風土記の丘へ向かいました。歴史民俗資料館と高床式倉庫など、田邊学芸課長さんにクイズなどを交えて面白



予約をすると個人でも詳しく説明についてくださいます。

く、説明をしていただきました。銅鐸の複製がありました。銅鐸の複製が厚さ、本物は現在の技術でも難しい1mm余りの薄さで作られていたそうです。（複製は3mm位で作られています。）



6月末まで、土日は2両編成で運行されているそうです。



日高さんの作品が、美術館入口を入るとずらりと並んでいます。古民家は、建屋だけでなく、昔の道具が細かく丁寧に作りこんであります。

君田温泉「森の泉」の隣にある「はらみちを美術館」では、日高忠福さん（下伏谷）の「古材を活かした古民家と竹細工展示会」が開かれています。

した。140センチを超える安土城や、日本各地の古民家、帆船や昆虫を竹で作った模型なども数多く展示されていました。細部まで丁寧に作りこまれた作品は、みれば見るほど感心させられるものばかりでした。

日高忠福さんの作品展は、7月3日までです。みなさんも日高さんの作品や、はらみちをさんの絵を見て、君田温泉につかってもらいたいかがでしようか。

# 「1600万年前の貝」と「思い出」をゲット!



なにができるか、ドキドキ、ワクワク

5月21日、いわみん初夏体験プログラムのひとつ「いにしえからの贈り物『化石』」を発掘しよう!」があり、町内外から26名が参加して、高海自治会化石発掘ゾーンで化石発掘体験をしました。「いわみん体験プログラム」は石見地域の個人、団体が様々な体験活動を提供するもので、県内外へ広く、広報されることから、広島や、松江市など遠くからの参加者もありました。



貝の化石がボコボコ着いています!

高海自治会化石研究会スタッフ3名が案内人として、この日も自治会館で高海の化石について説明した後、高海自治会で整備された化石発掘ゾーンで化石発掘スタート。小さきさまざまな化石らしきものが見つかる、すぐにスタツフに「これ化石?」と聞き、化石だといわれると大喜びしていました。ひとつ見つかる、もつと違うものを、もつと大きいものと時間がたつのを忘れ、化石探しを楽しんで、後半には大人の方が真剣になって、掘っておられました。



カニの手と思われる化石を発見。見つけたお父さんは一番最後まで一生懸命石を砕き、探し続けておられました。

高海自治会化石研究会では、化石発掘体験を4月から11月まで、随時受け付けています。  
◎発掘体験料  
ひとり500円  
(高校生以下300円 (乳幼児無料))  
案内員が説明等させていただきます。  
お申し込みは高原公民館へ電話をお願いします。

## 外のトイレ 新装開店



看板は「厠(かわや)」と書いてあります。

公民館駐車場横のトイレを修理して、利用できるようになりました。  
大便器1個、小便器2個ですが、しきり壁を作って、利用しやすくなっています。看板は日高忠福さん(下伏谷)に作製していただきました。  
トイレの周りには花和会の皆さんが整備された花壇が作られています。もう少しすると「オーシャンブルー」という花がたくさん咲く予定です。トイレでスッキリ、花を見てさわやかになっていただけると思いますのでぜひご利用ください。

# 高原小5、6年生が 高原神社と桜まつりについて学ぶ

5月24日、高原小学校5、6年生が、高原神社と、桜まつりについて学びました。

高原小学校の近くに建つ高原神社と、長年続いている高原の名物行事「桜まつり」についてそれぞれ深くかわっている地元の方にお話を聞きました

星が丘桜まつりは今春28回目となりましたが、第1回から関わり、「桜を守る会」初代事務局で当時、高原公民館主事でもあった東館長に、話をいただきました。



「みんなも大きくなったらまつりの運営スタッフになってね。」



「大きな拝殿は、とてもめずらしい造りなんだよ。」

高原神社については、高原神社宮司、木村勇さんに話をいただきました。高原神社は、原、高見、伏谷の三村社を合併して、学校の裏山に作られ、現在の場所への地に移転されたこ

多くの児童の皆さんが桜まつりに行っているようで、とても興味深そうに話を聞いていました。桜まつりの開催のほかにも、星が丘周辺の桜の管理や、山全体を桜の木にする壮大な構想があったことなどを聞くと、児童からは「今からでも桜の木を植えてほしい」「大人になったらいつしよにやる。」などと言ってくれました。



H27.4.11 に建立された石碑「敬神愛郷」

と、大鳥居や拝殿にまつわる小林徳一郎翁の逸話などを話されました。話を聞いた後、高原神社まで歩いていきました。児童の皆さんは、石碑に掘ってある字を読んだり、高原神社の拝殿に掲げている寄付者の名前に自分の家の人の名前がないか探したりしていました。

## サンホームみずほ 手工芸クラブの 作品を展示

サンホームみずほの絵手紙クラブや新しくできた手工芸クラブの作品を、高原公民館で展示しています。

「サンホームみずほでは、女性の方が多く利用されています。何かモノづくりがしたい、昔は裁縫をしていたとの声を聞いて、新しい趣味活動を始めました。以前にやっていた方は懐かしみながら、初めての人はワクワクしながら月1回利用者さんと相談しながら作っています。」  
折り紙や切り絵等々、ぜひご覧ください。



# 『星が丘ふれあいコンサート』

## 7月9日(土)午後1時30分～

コーラス教室、瑞穂中・矢上高吹奏楽部、アンサンブル星が丘♡の皆さんによる歌と演奏をお楽しみください。詳しくはチラシをご覧ください。

### よっちゃん館長の「今日の頃」

皆さん元気でお過ごしですか？あちらこちらの川面に、蛍が飛んでいますよ。

ニュースや新聞でご存じだと思いますが、全国各地でクマ（ツキノワグマ、ヒグマ）が相次いで出没しており、複数の死傷者が出ています。最近では隣の浜田市旭町で釣り人が熊の被害に合っています。

専門家によると「昨秋はクマのエサとなるブナの実（ドングリ）が豊作で母グマの栄養状態が良く、今年クマが親子で活発に移動するケースが多いとみられ、夏から秋以降には成長した小グマが人を襲う恐れもある」と指摘しています。また、秋田県や青森県では人を襲ったクマの胃の中から人の体の一部や肉片などが見つかったおり、「本来、人を食えないツキノワグマが人を食べ物と認識した」とも指摘しています。

また、ある専門家は「人口減少や高齢化で里山の管理が行き届かなくなり、山奥から下りたクマとの遭遇が増えている」といいます。いずれにしても、他人ごとではありません。私たちの地域でもいつ誰が被害に合うかもわかりません。ツキノワグマは体長1.5～1.5m程度だそうですが、一般人が襲われたらひとたまりもないそうです。山などに近づくときや山に入る時は、クマよけの鈴やラジオなどを携帯して十分注意するようにしましょう。

どうしたら人間と動物が安心して共存できる社会ができるのかを考えていきたいものです。

### 今月の一首

廃線を検討さるる三次発の一両電車鉄橋渡る

ぬるくなりしボトルのお茶を飲みながら越し方思ふ戦中戦後

高原短歌会 藤岡春江

### 高原地区の人口と世帯数

平成 28 年 5 月末現在（前年同月）	
男性	433人 (457人)
女性	468人 (478人)
合計	901人 (935人)
世帯数	367世帯 (378世帯)
高齢化率	44.84%

### 行事予定

～6月～

- 26日(日) 公民館周辺一斉清掃
- 29日(水) 警察音楽隊演奏会(高原体育館)

～7月～

- 2日(土) ハンザケ観察会(荻原集落)
- 9日(土) 星が丘ふれあいコンサート
- 17日(日) 邑南町バレーボール大会
- 22日(金) 危険な生き物について学ぼう  
カブトムシを採ろう(仕掛づくり)
- 23日(土) カブトムシを採ろう(採集)
- 31日(日) 高原地区ソフトボール大会

少し前テレビで、「不寛容な世界」をテーマにした番組がありました。内容はほとんど覚えていませんが、ラッキョウが転がっても笑える余裕があればいいのかな？と考えたことを覚えています。が、この話が分かる人は40歳代以上だなと思わずに切なくなりました。(佐藤)